

NU-COIL LETTER

POWER OF COLLABORATION

VOL.5



feat. 本田 駿 Shun Honda



Interviewer

藤掛 千絵 Chie Fujikake

【学生ティーチング・アシスタント(TA)との対談】

今回は、国際産官学連携PBL科目(PBL COIL)の学生TAとの対談をお届けしたいと思います。本田さんは2019年度にPBL COILを履修し、今年度は学生TAとして戻ってきてくれました。国際センターのワールドプラザやその他の国際交流イベントでも活躍し、教員としても安心してお仕事を任せられる頼もしい存在です。南山のNU-COILも支えてくれる本田さんに話を聞いてみました。(2021年10月22日)

藤掛) 本田さん、こんにちは。よろしくお願いします。まず最初に、PBL COILのTAを希望した理由とやりがいについて教えてくださいませんか？

本田) TAを志望した理由は「恩返しと好奇心」です。私は2年前にPBL COILを履修し、グローバルな考え方を学ぶ事ができました。その感謝と、PBL COILの魅力の後輩に伝えたいと思いました。また、履修生をサポートする立場から新たな発見ができると思い、希望しました。

藤掛) ありがとうございます。本田さんは、この授業の一番の魅力は何だと思えますか？

本田) 「多様な方々との交流」です。PBL COILでは、自分のアイデアや意見を発表する機会が多くあります。テーマや議題を通じて、通常の授業では出会えない人々と交流し、自分の視野を120%広げることができました！

藤掛) 本田さんはコロナの影響で留学に行けなかった学生のうちの一人ですが、PBL COILやその他の国際センター主催の国際交流の機会をどのように活用してきましたか？

本田) コロナ禍において、海外の学生とオンライン交流できる貴重な機会だと感じ積極的に参加しました。「語学力」はもちろん、そこで得た「コミュニケーション力や多文化理解力」は、留学を経験していない自分にも大きな強みになったと思います！

藤掛) 最後に、もうすぐ最終成果発表を迎えるPBL COIL履修中の学生たちに向けて、それと来年度のPBL COIL履修を後輩へオススメするひとことをお願いします。

本田) まずは最終発表に向けてやりきってほしいと思います。そこで得た自分やグループとしての学びを今後の人生に活かしてほしいです！

COIL型授業は、日本にいながらグローバルな視野を養うことができます。ぜひ多くの方に受講してほしいです！

藤掛) 本田さんにも、今後グローバル人材として社会で活躍し、世界との架け橋となってくれることを期待しています！今日はありがとうございました。